

大西短期専門家と研修参加者との記念撮影



★SINRAI PROJECT★★SINRAI PROJECT★★SINRAI PROJECT★★SINRAI PROJECT★★SINRAI PROJECT★

日本からの短期専門家による研修 (研修制度構築・研修講師養成) が行われました。



大西短期専門家の講義

1月16日～27日、研修制度構築および

研修講師の支援を行うため大西短期専門家がモンゴルを訪問し、医療・社会保険庁、各区、各県医療・社会保険事務所の職員を対象に、研修講義を行いました。自分が研修を行う立場になった場合、どのような準備をしたらよいかや、どのような点に注意しながら研修を実施したらよいかにつき、実践を交えながら学んでいました。研修参加者は班に分かれて、「モンゴルにおける年金の新旧システムの違い」をテーマにして、わかりやすい研修の内容を議論しながら作成し、発表を行いました。

また、大西短期専門家は医

療・社会保険庁の研修・広報課の職員とよりよい研修制度を構築す



発表の様子

るために、今後取り組むべきこと等についても活発な議論を交わしました。最終日には大西短期専門



研修広報課との意見交換

家と高梨専門家からサラン医療・社会保険庁副長官に対して、活動の報告をしまし

た。プロジェクトで実施されている研修や本邦研修で学んだことを他の職員にいかにつたえていくか、またその重要性について認識を共有しました。

(↓副長官への報告の様子)



SINRAI PROJECT JICA 社会保険実施 能力強化プロジェクト

ニュースター第8号
2017年2月



主な内容 (次項)



連載「草原の国の社会保障」

モンゴルにおける社会保険の実情や、本プロジェクトを通して伝えたい事などを掲載いたします。今回は、「高齢者の平均余命」についてです。(写真：Tsetsee Gung ロータアクトでの講演時の写真)

モンゴル国家大会議常任委員会出席



社会政策常任委員会に出席し、日本の年金システムやその特徴について説明しました。(写真：現地テレビ局からのインタビュー取材を受けている様子)

班での議論の様子

草原の国の社会保障（第 8 話） 「高齢者の平均余命」

皆さま、こんにちは。

今回は、「平均寿命」と「平均余命」について、お話しします。

「平均寿命」という言葉は、皆さんよく耳にされていると思います。2010 年から 2015 年の間のモンゴルの男性の平均寿命は、64.8 歳。そして、女性の平均寿命は、73.3 歳です。今から 60 年前の 1950 年から 1955 年の間のモンゴルの平均寿命が、男性 41.5 歳、女性 44.9 歳だったことからみると、20 歳以上伸びたことが分かりますね。その国の保健事情を測る指標として、平均寿命が伸びていることは、素晴らしいことです。

ところで、この「平均寿命」という数値ですが、例えば、今 60 歳である男性は平均的に「あと何年」生きられるでしょうか。実は、「平均寿命」とは、その年に生まれたゼロ歳の赤ちゃんが平均して何歳まで生きられるか表した指標です。そして、今 60 歳の方が、これからあと何年生きられるかということを示した指標である「60 歳の平均余命」とは違う数値となります。平均寿命を言い換えると、「0 歳児の平均余命」ともいえます。

ここで、日本の「65 歳の平均余命」について、調べてみましょう。今から約 90 年前である 1921 年から 1925 年の間の 65 歳の平均余命ですが、男性は 9.31、女性は 11.10 年でした。当時、65 歳といえば非常に高齢と見られていましたので、平均余命も短かったのです。そして、2014 年の 65 歳の平均余命をみますと、男性が 19.29 歳、女性が 24.18 歳と、倍以上に伸びて

います。つまり、日本の 65 歳の方は、平均して男性は 85 歳近くまで、そして、女性は 90 歳近くまで生きると予測ができるのです。

年金制度を安定的に運営していく場合、こうした指標を整えることが大変重要だと理解していただけるでしょう。人口の把握は国の基本です。私たちのプロジェクトでは人口の動きについても的確に予測できるよう支援してまいります。

チーフアドバイザー 山下 護

モンゴル国家大会議社会保障常任委員会に出席しました。



1 月 25 日、モンゴル国家大会議において社会政策・教育・文化・科学常任委員会が開催され、プロジェクトからも参加しました。

同常任委員長や労働・社会保障大臣からの挨拶、労働・社会保障省局長による報告などのあと、山下チーフアドバイザーによるプレゼンテーションが行われました。プレゼンテーションは「日本の年金システムから見たモンゴルの年金制度への助言」というテーマで行われ、終了後には出席した国会議員からの質問にも答えました。

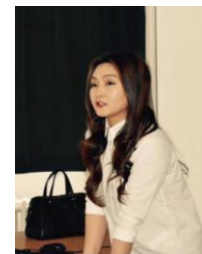


日本の年金政策について発表する貴重な機会を得られたことに感謝するとともに、今後もプロジェクトの活動を通して、モンゴルにおける、より良い年金政策・システム構築に向けて協力したいと思います。

モンゴル日本人材開発センターで職員向けの講演を行いました。



参加者の皆さま



モンゴル・日本人材開発センターを訪問し、センターの職員の方々に對して、山下チーフアドバイザーからは社会保険・年金の重要性、意義について、そしてモンゴルの社会保険の

システムなどにつき、パーソナルバ医療・社会保険庁研修広報課専門官（写真左上）がそれぞれ講義を行いました。

参加者からは積極的に質問や意見、感想がよせられ、充実した講義となりました。関係者の皆さまに深く感謝を申し上げます。



日本の健康保険制度に関する勉強会を行っています。

ひと月に 2 度程、医療・社会保険庁の医療保険を担当する部署や職員の方々に對して、日本の健康保険制度の紹介を実施しています。モンゴルの制度との違いや、日本ならではのシステムを学びあうことで、毎回活発な意見交換が行われています。（写真は勉強会の様子）



プロジェクト・オフィス住所・連絡先

住所：Khuulichid Street, Chingeltei District, Ulaanbaatar 15160, モンゴル社会保険庁内 6 階 602 号室
電話(FAX)番号：(+976)-11-325125



公式 Facebook アカウント：

Жайка Нийгмийн Даатгалын төс өл

ニュースレターのバックナンバーはこちらから

<http://www.jica.go.jp/project/mongolia/014/newsletter/index.html>

